

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

Ⅱ賃金水準改善原資の配分Ⅱ 職群間の格差解消を！

賃金水準改善原資の配分に関する最終結論について、職場討議がされており、次の内容の検討は重要と考えています。

職群間格差の解消を

本来、07年春闘で5000円、08年春闘で10000円のベアの配分は、各職群に対して公平にされるべきです。その原資を、一部の職群の改善ために流用するの

は問題であり、そのための改善原資は、別枠で行うのが当然と考えます。

とりわけ、基幹職への一律配分が1050円と低額であったにも関わらず、初任給増額に伴い1500円を増額したR5以外にさらなる増額配分がなかったのは問題を残しています。今後「基幹職に対する処遇面での改善を重視して頂きたい」との声が寄せられています。

昇号を明記した制度へ

昇級・昇号に関する会社回答が、「中央人事処遇制度専門委員会の中でご説明申し上げる」との内容に対して具体的に昇号などの段取りを確認すべきです。

制度導入時「毎年二人に一人程度の昇号」とし、その後の検証でも概ね昇号に問題がないと確認されています。

今回の改訂後のテーパーは、号俸の細分化により「通常は毎年昇号」ができる制度となっていると考えられます。

会社の言っている「モチベーションの向上」のためにも、号俸が上がることを明記すべきと考えます。

集積回路

★リーマンショック以降の金融資本市場の混乱は、景気の後退となっております。とりわけ、

日本経済は、過度の輸出依存、脆弱な家計、膨大な財政赤字、極端な低金利政策に大きな原因があると指摘されています。とりわけ、日本の家計における個人消費の弱さは、この間の景気で企業はその利益を溜め込んだことに対して、労働分配率の低下傾向が続いてきています。さらに、企業が非正規雇用を拡大するなどベアの抑制を通じて人件費を抑えてきました。こうした不正常的な経済運営を改善して行かなければなりません。国民のふところを暖める制度と政策が求められています。異常な金融資本市場の改革も強く求められています。

連合が8年ぶりに統一ベア取組む

物価上昇の穴埋めが必要だ

連合は20日、09年春闘で「物価上昇（08年度見通し）に見合うベースアップ」を求め、闘争方針をまとめた。統一のなべアを求めるのは01年春闘以来8年ぶり、物価上昇分は「1%台半ば」を想定している。ただ、経営側は景気の悪化を理由にべアには慎重な姿勢を示しており、来春闘では厳しい交渉を迫られそうだ。

02年春闘以降、連合は「企業間の業績格差」「賃金制度の多様化」などを理由に、統一のなべア要求を見送ってきた。だが、デフレから一転して物価上昇が広がり、個人消費も

低迷。労働者の生活を維持し、内需拡大につなげるためには、企業業績の悪化が広がる中でもべア要求の姿勢を示すことが重要と判断した。

記者会見で古賀伸明事務局長は「業績や状況が悪いから賃金も下げられるのでは、日本経済は底割れしてしまう。ここは企業側も踏ん張って賃上げに応じてほしい」として、来春闘を内需主導型の経済に転換するきっかけと位置づける姿勢を示した。

統一のなべア要求について傘下労組には「生活維持のためにも当然のこと」と評価する声がある一方、企業の業績悪化が進むなかで「現実的ではない」と足並みの乱れを懸念する声もある。

パート労働者らの待遇改善を目指す「パート共闘会議」には今春

闘より3産別多い17産別が参加。パートの時給引き上げ目安を今春闘より5円上積みして30円とした。また、「金属」「化学・食品・製造」など、計37産別が参加する五つの「共闘連絡会議」もこの日発足し、今後の新たな闘争態勢の推進を確認した。

経団連の春闘対策

来春闘に向けた経営側の指針と

なる日本経団連の「経営労働政策委員会報告」の原案が20日、明らかになった。労働側が求めるべアについては「横並びに賃金の底上げを図る市場横断的なベースアップはありえない」と強く否定している。べア容認の姿勢を鮮明にした今春闘から一転、世界的な景気後退を受けて急激な雇用情勢の悪化が見込まれる中、「雇用の安定」を最優先に掲げた。

(11月21日「朝日新聞」より)

賃上げ「原則各企業の判断」 経団連会長が記者会見

日本経団連の御手洗富士夫会長は11月19日、金沢市で記者会見し、2009年の春季労使交渉における経営側の基本的な考え方について「賃上げは原則として各企業の労使が決めるべきだ」と述べ、個別企業の判断に委ねるとの認識を示した。御手洗会長が来春の方針に言及したのは初めてで、賃上げは「今の経済情勢では難しい企業も多々あると思う」と語った。

経団連は今月末に経営側が来春の労使交渉で指針とする「経営労働政策委員会報告」の最終案をまとめる。08年は賃上げ容認を打ち出したが、御手洗会長は金融危機が深まった現状で賃金引き上げを「総意」として再び掲げるのは難しいとの見方をにじませた。

(11月19日「日経」より)

国内主要半導体メーカーの08年度
4-9月実績と09/3期見通し

社名	売上高	(率)	営業利益	(率)
東芝	6,094	15.1	595	(-)
	12,800	8.0	650	(-)
ルネサス	4,268	11.1	3	96.4
	9,700	2.1	410	6.0
ソニー	3,690	10.0	黒字	
	6,500	23.5	黒字	
NECエレクトロニクス	3,335	5.0	12	34.9
	6,600	4.0	10	80.4
パナソニック	2,440	6.1	黒字	
	4,750	2.6	黒字	
エルピーダ	2,228	0.8	401	(-)
	非公表		非公表	
富士通マイクロエレクトロニクス	2,225	13.7	100億円強の赤字	
	4,300	15.5	300億円弱の赤字	
ローム	1,707	14.4	254	39.4
	3,735	0.0	285	57.7
三菱電機	1,004	5.6	35	41.7
	2,000	4.2	10	89.8
三洋電機	760	12.7	非公表	
	非公表		非公表	
OKI	541	20.9	51	(-)
	非公表		非公表	
セイコーエプソン	418	4.5	非公表	
	770	3.4	非公表	

(注)単位億円。カッコ内は前年同期比増減率(%)。
上段は4-9月決算実績、下段は通期(09/3)見通し。
は赤字または伸び率マイナス。
*パナソニックは生産額。
*三菱電機は電子デバイス事業の数値

08年11月20日付「日刊工業新聞」より

単価下落、需要も縮小

国内主要半導体メーカー12社のなかで、09年3月期見通しを公表している9社の合計売上高は、前年比6・9%減の5兆1155億円。

世界半導体市場統計(WSTS)も09年の市場規模が8年ぶりにマイナス成長になる見通しを公表した。
継続的な単価下落に加え、景気減速を背景にした需要縮小もあり、今後メーカーの利益

確保が難しくなりそうだ。
市場が縮小した00年から01年と同じように半導体業界の再編機運が高まっている。

09年3月期の見通し

09年3月期に減収を見込むのは主要半導体12社中5社。ルネサスや非公開の三洋電機、沖電気も減収になる可能性が高い。
既に海外の半導体メーカーは選択と集中に乗り出している。米AMDは製造を本体から

休憩室

インド同時テロ

外国人に強い敵意

日本人も犠牲に

安心 安全が守れない

首相の放言相次ぐ

「沈黙は金なり」と

言った人もいたね

始まる裁判員制度

通知が届いたら

どうしよう

強い負担を感じる

分離、米フリースケール・セミコンは携帯電話用チップ事業の分離・売却を打ち出している。

(11月20日「日刊工業」より)

職場だより

午後10時の構内放送

ルネサステクノロジ武蔵事業所では今年度から午後10時まで働いている人たちに、帰宅を促すための構内放送が行なわれるようになりました。また、これまでに放送内容の変更が何度か行なわれたようです。

メンタル疾患が2倍に

ルネサステクノロジが発足した2003年度からメンタル疾患発生件数は、2007年度には約2倍になった事が明らかになりました。武蔵事業所でもこのところ増加傾向になっていると言われています。

職場では、12月1日～31日の一ヶ月間「安全衛生推進強化月間」が取り組まれます。こうした機会に「労働災害」「メンタルヘルス」「交通災害」を根絶させるために取り組んでいきましょう。(D)

放送が始まった当初は、なるべく深夜就業をしないようにしようと言っていたとのことですが、

その後、効率的に業務を行ないましょうという内容になり、帰宅を促すという点では内容が後退してしまっただけです。しかし最近では、早目に帰宅できるように業務を終えましょうという内容に変わったとのこと、放送内容が工夫されているようです。

長時間・深夜就業によ

元気が出る講演会に参加

11月19日「元気

が出る講演会」に出席する機会があった。

た。変革クリエーターの

講師のお話は、90分間があつと言う間と感ずるほど新鮮であった。講師は最初に「主役は視聴者であり要点を書きとめる」ことが提案され、お話しのポイントをメモさせて頂き、今でも参考にしている。最後に述べられた元気の三条件の「元気な人を見た時」「共感をした時」「今日よりも明日は良くなると感じた時」

絵手紙でご挨拶



とまとめられた。(B)

避難訓練について

11月13日に避難訓練があった。グラウンドに避難した後の人員確認に時間がかかりすぎ、万が一の時にならぬのかと心配になった。状況説明も不十分であり、かなりの改善が必要と感じたのは私一人ではなかったのでは。(C)

編集後記

11月12日はリフレッシュ定時退勤日として労働者の職場巡視もあり、多くの人が一斉に退勤をされたようです。東門ではサミット前が混雑して店から二人が出てきて交通整理を行う程でありました。今後せめて毎週の定時退勤が完全に実施されることを望むものです。(T)